

令和 3 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	上下水道局下水道部下水道計画課	要素事業所管課	上下水道局下水道部下水道計画課、上下水道局下水道部下水道管路課、上下水道局下水道部施設課
----------	-----------------	---------	--

1 計画の概要

計画の名称	川崎市公共下水道 社会資本総合整備重点計画（防災・安全）	計画の期間	平成 30 年度～令和 3 年度
計画の目標	下水道による良好な循環機能の形成		
計画の成果目標（定量的指標）	・ 水処理センター・ポンプ場の耐震化率（管理機能）（％）を、83.3％（H28）から100％（R3）に増加。 ・ ポンプ場の汚水揚水機能確保率（％）を、36.4％（H28）から54.5％（R3）に増加。 ・ 雨水整備率（％）を、57.0％（H28）から57.1％（R3）に増加。 ・ 合流改善率（％）については、68.5％（H28）から73.5％（R3）に増加。		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	・ 要素事業の追加に伴う計画の見直し		

2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況（概要）

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	下水道事業 六郷遮集幹線（合流改善） 三沢川地区（浸水対策）	10,990,000	24,890,000	9,166,262	36.8%	（主な完成施設） 六郷遮集幹線（合流改善）を一部完成 三沢川地区（浸水対策）を一部完成
B (関連社会資本整備事業)						
C (効果促進事業)						
全体事業費（A+B+C）		10,990,000	24,890,000	9,166,262 【財源内訳】 国:4,585,931 市:4,580,331	36.8%	

3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	水処理センター・ポンプ場の耐震化率（管理機能）（％）			
定義及び算定式	（定義） 水処理センター・ポンプ場のうち、地震対策（管理機能）が完了した施設の割合 （算定式） $\text{水処理センター・ポンプ場の耐震化率（管理機能）（％）} = \text{地震対策（管理機能）が完了した施設数} / \text{地震対策（管理機能）を要する施設数}$			
その指標を設定した理由	大規模地震発生時でも、下水が管きょ内に滞留して市街地に溢水しないよう、水処理施設センター・ポンプ場での施設を運転・制御する機能（管理機能）の耐震化が完了した割合がどのくらいに達しているかをわかりやすく表すため。			
当初現況値 (H28)	中間目標値	最終目標値 (R3)	実績値(確定) (見込)	目標達成状況
83.3%	100%	100%	100%	達成
目標達成状況に対する所見	管理機能の耐震性能が確保されていなかった大師河原ポンプ場など4ポンプ場について、着実に耐震化を図り、令和元年度末に耐震化率100%を達成した。			
将来の見込み	管理機能の耐震性能が確保されたことから、今後は、ポンプ場の揚水機能や水処理センターの揚水機能、消毒機能の確保を推進していく。			

評価指標の名称、内容	ポンプ場の汚水揚水機能確保率（％）			
定義及び算定式	（定義） 汚水ポンプ場のうち、地震対策（汚水揚水機能）が完了した施設の割合 （算定式） $\text{ポンプ場の耐震化率（汚水揚水機能）（％）} = \text{地震対策（汚水揚水機能）が完了した施設数} / \text{地震対策（汚水揚水機能）を要する施設数}$			
その指標を設定した理由	大規模地震発生時でも、下水が管きょ内に滞留して市街地に溢水しないよう、汚水ポンプ場での下水を下流へ流す機能（汚水揚水機能）の耐震化が完了した割合がどのくらいに達しているかをわかりやすく表すため。			
当初現況値 (H28)	中間目標値	最終目標値 (R3)	実績値(確定) (見込)	目標達成状況
36.4%	45.5%	54.5%	54.5%	達成
目標達成状況に対する所見	耐震性能が確保されていなかった踊場ポンプ場の汚水揚水機能の耐震化を図るとともに、渡田ポンプ場、古市場ポンプ場で耐震診断を実施し耐震性能が確保されていることが確認されたため、着実に目標を達成できた。			
将来の見込み	ポンプ場の汚水揚水機能が確保されていない大島ポンプ場など5ポンプ場において、耐震化を図り令和7年度までに汚水揚水機能確保率100%を目指す。			

評価指標の名称、内容	雨水整備率（％）			
定義及び算定式	（定義） 下水道全体計画区域面積のうち、雨水管きょの整備により、5年に1回程度発生する規模の降雨（時間雨量52mm）への対策を完了した面積の割合 （算定式） $\text{雨水整備率（％）} = \text{5年確率降雨対策完了済み面積} / \text{下水道全体計画区域面積}$			
その指標を設定した理由	下水道全体計画区域面積（11,288ha）のうち、雨水管きょの整備により、5年に1回程度発生する規模の降雨（時間雨量52mm）への対策を完了した面積の割合がどのくらいに達しているかをわかりやすく表すため。			
当初現況値 (H28)	中間目標値	最終目標値 (R3)	実績値(確定) (見込)	目標達成状況
57.0%	57.0%	57.1%	57.1%	達成（見込み）
目標達成状況に対する所見	浸水実績の多い三沢川地区、土橋地区等において雨水管の整備（約13.6ha）を進めたことにより、最終目標値を達成できた。なお、計画期間に実施した雨水整備水準を5年確率降雨から10年確率降雨へアップグレードさせる浸水対策については、本指標へは反映できないため、指標の上昇が抑制されている。			
将来の見込み	三沢川地区、土橋地区等において雨水管の整備を継続して進めることにより、浸水被害の軽減を図っていく。			

評価指標の名称、内容	合流改善率（％）			
定義及び算定式	（定義） 合流式下水道区域の面積のうち、雨天時に未処理の下水の一部が河川や海域に放流されることへの対策として、貯留管や滞水池などの改善対策施設の整備が完了した区域の面積の割合 （算定式） $\text{合流改善率（％）} = \text{合流式下水道改善対策完了区域面積} / \text{合流式下水道区域面積}$			
その指標を設定した理由	市内の合流式下水道区域の面積（3,548.6ha）のうち、雨天時に未処理の下水の一部が河川や海域に放流されることへの対策として、貯留管などの改善対策施設の整備が完了した区域の面積の割合がどのくらいに達しているかをわかりやすく表すため。			
当初現況値（H28）	中間目標値	最終目標値（R3）	実績値（確定 見込 ）	目標達成状況
68.5％	73.5％	73.5％	73.5％	達成
目標達成状況に対する所見	丸子吐口における夾雑物の削減を目的とした合流改善スクリーンの設置により、目標値を達成できた。また、計画期間中には、大師河原ポンプ場からの雨天時の未処理下水の放流回数削減に向けた、大師河原貯留管の整備と大師河原ポンプ場における施設改造を推進したほか、六郷ポンプからの放流回数削減に向けた六郷遮集幹線の整備を推進した。			
将来の見込み	引き続き、大師河原貯留管を合流改善対策施設として活用するための大師河原ポンプ場の改築を実施するほか、六郷遮集幹線の整備を推進し、令和5年度の合流改善率100％を目指す。			

4 事業効果の発現状況（計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの）

評価指標の名称、内容	—
定義及び算定式	—
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	—
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	—

5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	下水道を使用している市民の方から無作為に抽出した1千人を対象に、「下水道事業に対する市民意識調査」を実施した。調査期間は、令和3年9月9日～24日まで。
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	社会資本整備総合交付金を活用して実施している地震対策、浸水対策、高度処理、合流改善などの下水道事業の様々な施策に対する満足度を調査した結果、地震対策、浸水対策、合流改善など概ね7～8割の市民の方が満足していると確認できた。 今後とも更なる満足度が得られるよう、より効率的に事業を進めていく。

6 今後の方針等

総合的な所見	社会資本整備総合交付金の内示額や工事落札率の影響、令和2年度から創設された個別補助制度への移行により、当初計画で計上していた事業費よりも執行額は減少したものの、市単独事業と合わせて執行することで、当初見込んでいた成果目標は概ね達成が見込まれる。地震対策や浸水対策は、重点化地区を位置付け、効果的・効率的な取組により成果目標は達成予定となった。また、合流改善については、完了目標年次に向けた取組を着実に進めることができた。
今後の方針 次期計画 あり・なし	地震対策については、水処理センター・ポンプ場の揚水機能の確保、消毒機能を確保していく必要がある。浸水対策については、浸水リスクの高い重点化地区において対策を進めるとともに、令和元年東日本台風により水害が発生した排水樋管周辺地域をはじめ、局地的な浸水箇所において、地域特性を踏まえた効果的な浸水対策を進める必要がある。また、合流改善については、法令等に定められた期限までに目標を達成するため、引き続き事業の推進が必要である。